

科目ナンバー	EDU-2-059-j			科目名	教育方法・技術(中等)		
教員名	平岡 さつき、奥田 雄一郎			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	前半では、近代公教育の発展の中で教育の方法や技術がどのように展開してきたのかを資料に基づき学びます。そのうえで授業研究の枠組み、すなわち施設・設備論、目標・評価論、教材・教具論、指導過程・学習形態論について基本事項の認識をはかり、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法・技術について具体的な事例や教育実践に基づいて考察します。 後半では、教育心理学の基本的知見を習得するとともに、グループによるプレゼンテーションを通して、特に新学習指導要領におけるICT活用能力、主体的・対話的で深い学びについての事例検討を行うことによって教授法についての理解を深め、これからの時代を担う教師としての資質を高める。						
到達目標	1.教育方法・技術に関する歴史的・世界的な展開が理解できること。 2.目標・評価、教材・教具、指導過程・学習形態について創意工夫した先行実践に着目し、授業をデザインする着想を得られること。 3.現代社会におけるICT活用について理解を深め、教育実践における情報機器の適切な導入の仕方について検討すること。 4.教育心理学の基本的知見を習得し、主体的・対話的で深い学びを教育実践に生かす力を付けること。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力		分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	○
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	前半では、教育方法・技術の歴史的・世界的な動向について時代を追って系統的に講義し、授業づくりの基礎的な要素について学びます。授業シートや小テストで理解度を確認しながら進めます。 後半では、各テーマについてグループワーク形式でのアクティブラーニングを行い、グループワーク・プレゼンテーションに対して、適時コメントによるフィードバックを行います。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修			○
受講条件 前提科目	中等の教職を志す人の必修科目です。理論的な把握をしつつ実践的に取り組みましょう。						
アセスメントポリシー及び評価方法	前半では課題レポートにまとめられている内容から、「共生のための知識」や「分析し、思考する力」を判断します。 課題レポートおよび授業シート(50%)、プレゼンテーション(50%) 後半では、グループワークやプレゼンテーションを中心に「協働する力」や「関係を構築する力」、そして「構想し、実行する力」を判断します。 グループワーク・プレゼンテーション(50%)、課題レポート(50%)						
教材	教材は特定しません。授業に必要な教材を、その都度準備します。						
参考図書	佐藤学『教育方法学』岩波書店、1996年。 平岡さつき論文所収『学校と学区の地域教育史』川島書店、2005年。 板倉聖宣『仮説実践授業のABC』仮説社、1977年第5版第2刷2014年。 J.A.コメニウス、井ノ口淳三訳『世界図絵』平凡社、1995年、5刷2010年。 小林千枝子・平岡さつき・中内敏夫『到達度評価入門』昭和堂、2016年。 その他、必要に応じ、参考図書を紹介します。						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	シラバス授業：授業ガイダンス授業の概要とスケジュール、関連資料等についてシラバスに基づき解説する。その上で、授業運営、評価等について説明を行う。						
授業外学修内容	シラバス授業で授業について必要な情報を収集したうえで履修手続きをしてほしい。					時間数	
2週目							
授業学修内容	教育方法の歴史と思想 授業の歴史(1) 欧米教育方法・技術がどのような歴史を経て今日に至っているのか、グローバルな視点から概観する。						
授業外学修内容	西欧における教育方法・技術の歴史とその内容を復習しておくこと。次回の最初に小テストを行う。					時間数	2

3週目			
授業学修内容	教育方法の歴史と思想 授業の歴史(2) 日本西欧の教育方法・技術の受容、日本独自の教育方法・技術の歴史的展開を概観する。 中間課題の提示:教育方法・技術の基本概念(ミニマム・エッセンシャルズ)を調べる。また、着目する教育方法・技術への理解を深める。		
授業外学修内容	日本における教育方法・技術の受容や、日本独自の教育方法・技術の展開について復習しておくこと。次回、小テストを行う。 中間課題については期日までに調べてレポートにまとめること。	時間数	7
4週目			
授業学修内容	授業の様式(1)施設・設備論——世界の教室・日本の教室資料の読み解きや視聴覚教材の視聴を通して、学校建築や施設設備の日欧比較、その授業に及ぼす意味について考察する。		
授業外学修内容	施設・設備と教育実践との関わりについて考察してまとめる。	時間数	2
5週目			
授業学修内容	授業の様式(2)教材・教具論——教材づくりの理論と実践教材と教具の理論について学び、様々な教材・教具への視点を形成する。また教材づくりの構想を得る。		
授業外学修内容	様々な教材・教具について調べ、中間課題レポート作成作業の一環とすること。	時間数	3
6週目			
授業学修内容	授業の研究:指導過程・学習形態論について歴史的資料や実践事例を検討することによって、授業づくりの手がかりを得る。今日求められている授業のあり方について考察する。		
授業外学修内容	視聴覚教材の視聴をふまえて考察し、授業シートを仕上げて提出できるようにする。	時間数	3
7週目			
授業学修内容	教育評価論 教育目標・評価の動向および授業評価の実践について認識する。そのうえで教育評価に関するアクティビティ:パフォーマンス課題とそのルーブリック(評価指標)をつくる活動を行う。		
授業外学修内容	授業時のパフォーマンス課題とルーブリックを仕上げる。	時間数	3
8週目			
授業学修内容	中間課題グループ内発表および全体発表:中間課題をグループ内で発表しあい基本概念を確認しあう。全体で確認すべき箇所については解説する。着目した教育方法・技術については全体発表を行う。		
授業外学修内容	中間課題レポートをまとめ、提出できるようにしておく。	時間数	5
9週目			
授業学修内容	中等教育とICT活用能力学習指導要領の改定に伴い、中等教育におけるICT活用能力の育成が求められている。今後必要となるICT活用能力について解説する。		
授業外学修内容	中学・高等学校におけるICT活用事例を収集し、整理しておく。	時間数	3
10週目			
授業学修内容	プレゼンテーション(1):中等教育とICT活用能力①講義を踏まえ、各学校におけるICT活用事例を収集し、グループでプレゼンテーションを行う。		
授業外学修内容	中学・高等学校におけるICT活用事例を収集し、整理しておく。	時間数	5
11週目			
授業学修内容	プレゼンテーション(2):中等教育とICT活用能力②講義を踏まえ、各学校におけるICT活用事例を収集し、グループでプレゼンテーションを行う。		
授業外学修内容	中学・高等学校におけるICT活用事例を収集し、整理しておく。	時間数	2
12週目			
授業学修内容	中等教育と主体的・対話的で深い学び学習指導要領の改定に伴い、中等教育における主体的・対話的で深い学びの実践が求められている。様々な事例をあげながら、中等教育における主体的・対話的で深い学びについて解説する。		
授業外学修内容	中学・高等学校における主体的・対話的で深い学びについての事例を収集し、整理しておく。	時間数	3

13週目			
授業学修内容	プレゼンテーション(3):中等教育と主体的・対話的で深い学び②講義を踏まえ、各学校における主体的・対話的で深い学びの事例を収集し、グループでプレゼンテーションを行う。		
授業外学修内容	中学・高等学校における主体的・対話的で深い学びについての事例を収集し、整理しておく。	時間数	3
14週目			
授業学修内容	プレゼンテーション(4):中等教育と主体的・対話的で深い学び②講義を踏まえ、各学校における主体的・対話的で深い学びの事例を収集し、グループでプレゼンテーションを行う。		
授業外学修内容	中学・高等学校における主体的・対話的で深い学びについての事例を収集し、整理しておく。	時間数	5
15週目			
授業学修内容	これまでのまとめとリフレクションこれまでの授業を振り返り、授業の到達と課題についてリフレクションを行う。		
授業外学修内容	課題レポートをまとめ、提出できるようにしておく。	時間数	1
上記の授業外学修時間の合計		47	
その他に必要な自習時間		43	

Number	EDU-2-059-j	Subject	Educational Methodology(Secondary)		
Name	平岡 さつき(Hiraoka Satsuki)、奥田 雄一郎(Okuda Yuichiro)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>In the first half, we will use materials to learn how educational methods and techniques have developed in public education in recent years. After that, we will aim to recognize the basics of the framework for lesson research, in other words, theory of institutions and facilities, theory of objects and evaluation, theory of teaching materials and tools, and theory of the teaching process and learning format. We will consider specific examples and the way education should be practiced.</p> <p>In the second half, as a base for a psychological approach to school education, we will not only learn basic findings about educational psychology, but we will also address its connection to practicing education.</p>				